

令和 4 年度 決算特別委員会

生活環境分科会 決算に係る資料

1. 主な整備箇所等一覧	1 頁
2. 令和 5 年度への繰越箇所一覧	7 頁
3. 下水道事業の財政状況（図解）	13 頁
4. 経営指標等の推移	15 頁
5. 補助金の支出状況	21 頁

令和 5 年 9 月  
道 路 下 水 道 局

# 1. 主な整備箇所等一覧

## (1) 道路整備

(決算説明資料 5P関連)

区 分	公 共 事 業	
	決 算 額	主 な 箇 所 等
幹線道路整備	5,060,137	《道路橋りょう整備》 香椎4800号線（香椎） 千代今宿線（興徳寺橋） 学園通線（田尻）  《都市計画道路整備》 野間屋形原線（花畑） 老司片江線（やよい坂） 長尾橋本線（茶山）
生活道路等整備	1,694,975	《道路橋りょう整備》 博多駅五十川線（博多駅筑紫口駅前広場再整備） 志賀島和白線（大字西戸崎） 博多駅前10号線
交通安全施設整備	1,993,335	《交通安全施設整備》 櫛田神社前駅自転車駐車場 大橋駅前1号線 福岡志摩線（田尻）
連続立体交差事業	1,041,060	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）
直轄工事費 負担金	—	
道路施設の アセット マネジメント	1,079,032	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 幹線道路アセット 生活道路アセット
そ の 他	—	
合 計	10,868,539	

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
決 算 額	主 な 箇 所 等	
675,504	《道路橋りょう整備》 福岡志摩前原線（今津橋） 香椎4800号線（香椎） 学園通線（田尻）  《都市計画道路整備》 博多箱崎線外1線（千代・馬出） 長尾橋本線（茶山） 老司片江線（やよい坂）	5,735,641
2,551,711	《道路橋りょう整備》 草場線（大字草場） 博多駅前線（はかた駅前通り） 福岡志摩前原線（大字小田）	4,246,686
3,543,386	《交通安全施設整備》 松崎吉塚線（象池踏切） 国道263号（飯倉） 博多姪浜線（舞鶴・大名）	5,536,721
58,202	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	1,099,262
978,162	国道3号 外	978,162
2,650,033	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 幹線道路アセット 生活道路アセット	3,729,065
1,579,113	対象外給与費・福岡北九州高速道路公社貸付金等	1,579,113
12,036,111		22,904,650

## (2) 河川整備

(決算説明資料 6P関連)

区 分	公 共 事 業			
	決 算 額	主 な 箇 所 等		
治 水 対 策	895,648	周船寺川 源蔵池	水崎川 道手池	金屑川 博多川
局 地 的 豪 雨 策 対	—			
環 境 整 備	25,800	名柄川		
河 川 施 設 の ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト	185,230	吉塚新川	上牟田川	綿打川 水崎川
そ の 他	—			
合 計	1,106,678			

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
決 算 額	主 な 箇 所 等	
363,224	香椎川 十郎川 一本松川 上妹池	1,258,872
21,098	大谷川	21,098
—		25,800
286,178	七隈川 唐の原川 弁天川 七寺川	471,408
197,904	対象外給与費	197,904
868,404		1,975,082

## (3) 下水道整備

(決算説明資料 7P関連)

区 分	公 共 事 業	
	決 算 額	主 な 箇 所 等
下水道施設のアセット マネジメント ( 改 築 更 新 )	5,953,930	天神幹線、 志賀島ポンプ場、松崎第1ポンプ場、 和白、東部、中部、西部水処理センター
浸 水 対 策	3,469,250	中部6号幹線、中部8号幹線、中部9号幹線、 七隈第6雨水幹線、周船寺第1雨水幹線
地 震 対 策	2,357,609	筥松香椎污水幹線、塩原第2雨水幹線、 藤崎2号幹線
未整備区域の解消	601,849	香椎照葉七丁目
合流式下水道の改善	581,036	美野島一丁目、警固二丁目
再 生 水 利 用	118,252	箱崎六丁目、長浜一丁目
合 計	13,081,926	

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
決 算 額	主 な 箇 所 等	
8,448,546	美和台五丁目、博多駅東一丁目、渡辺通二丁目、野間一丁目、 七隈七丁目、荒江二丁目、今宿青木、 志賀島ポンプ場、 和白、東部、中部、西部水処理センター	14,402,476
2,901,895	花畑二丁目	6,371,145
214,407	筥松香椎汚水幹線、塩原第2雨水幹線、 藤崎2号幹線	2,572,016
1,470,010	大字石釜	2,071,859
209,130	美野島一丁目、警固二丁目	790,166
33,321	白金一丁目	151,573
13,277,309		26,359,235

## 2. 令和5年度への繰越箇所一覧

### (1) 道路整備

(決算説明資料 5P関連)

区 分	公 共 事 業	
	繰 越 額	主 な 箇 所 等
幹線道路整備	4,770,608	《道路橋りょう整備》 香椎4800号線（香椎） 千代今宿線（興徳寺橋） 学園通線（田尻）  《都市計画道路整備》 天神通線（北側） 野間屋形原線（花畑） 長尾橋本線（茶山）
生活道路等整備	354,863	《道路橋りょう整備》 博多停車場線（大博通り） 店屋町318号線 志賀島和白線（大字西戸崎）
交通安全施設整備	2,522,224	《交通安全施設整備》 博多駅草ヶ江線（六本松） 大橋駅前1号線 清水干隈線（七隈）
連続立体交差事業	867,830	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）
道路施設のアセットマネジメント	521,039	《道路橋りょう整備》 大規模施設アセット 橋梁アセット 幹線道路アセット
そ の 他	—	
合 計	9,036,564	



(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
繰 越 額	主 な 箇 所 等	
435,826	《道路橋りょう整備》 香椎4800号線（香椎） 千代今宿線（興徳寺橋） 学園通線（田尻）  《都市計画道路整備》 博多箱崎線外1線（千代・馬出） 長尾橋本線（茶山） 粕屋久山線（土井）	5,206,434
1,216,701	《道路橋りょう整備》 上臼井線 宮ノ浦線 千代今宿線（今宿青木）	1,571,564
1,499,149	《交通安全施設整備》 松崎吉塚線（象池踏切） 高美台2511号線 国道263号（飯倉）	4,021,373
14,164	《都市計画道路整備》 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	881,994
961,408	《道路橋りょう整備》 橋梁アセット 生活道路アセット 大規模施設アセット	1,482,447
225,400	《都市計画道路整備》 福岡北九州高速道路公社貸付金	225,400
4,352,648		13,389,212

## (2) 河川整備

(決算説明資料 6P関連)

区 分	公 共 事 業			
	繰 越 額	主 な 箇 所 等		
治 水 対 策	573,636	周船寺川 博多川	水崎川 源蔵池	金屑川 道手池 若久川
局 地 的 豪 雨 策 対	—			
環 境 整 備	—			
河 川 施 設 の ア セ ッ ト マ ネ ジ メ ン ト	—			
そ の 他	—			
合 計	573,636			

(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
繰越額	主 な 箇 所 等	
156,086	香椎川 一本松川 上妹池 不動ヶ浦池	729,722
20,552	大谷川	20,552
—		—
127,376	唐の原川 弁天川	127,376
—		—
304,014		877,650

## (3) 下水道整備

(決算説明資料 7P関連)

区 分	公 共 事 業	
	繰 越 額	主 な 箇 所 等
下水道施設のアセット マネジメント ( 改 築 更 新 )	2,891,594	城西第2ポンプ場、城浜ポンプ場、 和白、東部、中部、西部水処理センター
浸 水 対 策	1,565,874	月隈第11雨水幹線
地 震 対 策	2,267,970	和白唐の原汚水幹線、塩原老司雨水幹線
未 整 備 区 域 の 解 消	242,329	香椎照葉七丁目、西部水処理センター
合 流 式 下 水 道 の 改 善	124,135	天神二丁目
再 生 水 利 用	118,206	那の津三丁目
合 計	7,210,108	

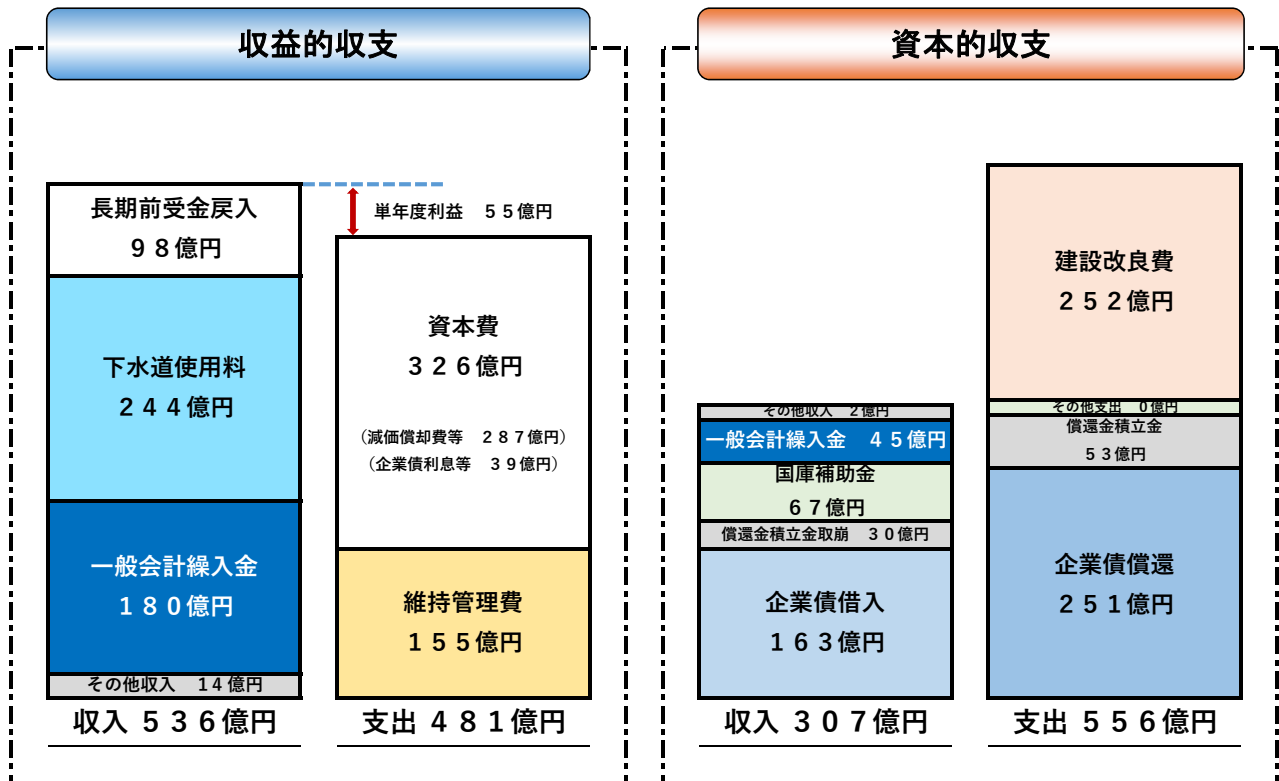
(単位：千円)

単 独 事 業		合 計
繰 越 額	主 な 箇 所 等	
3,454,604	水谷三丁目、博多駅南一丁目、大濠一丁目、 長住五丁目、鳥飼六丁目、城西二丁目、 和白、東部、中部、西部水処理センター	6,346,198
1,707,077	小戸三丁目	3,272,951
84,334	和白唐の原汚水幹線、塩原老司雨水幹線	2,352,304
908,632	大字飯盛	1,150,961
3,304	天神二丁目	127,439
20,941	那の津三丁目	139,147
6,178,892		13,389,000

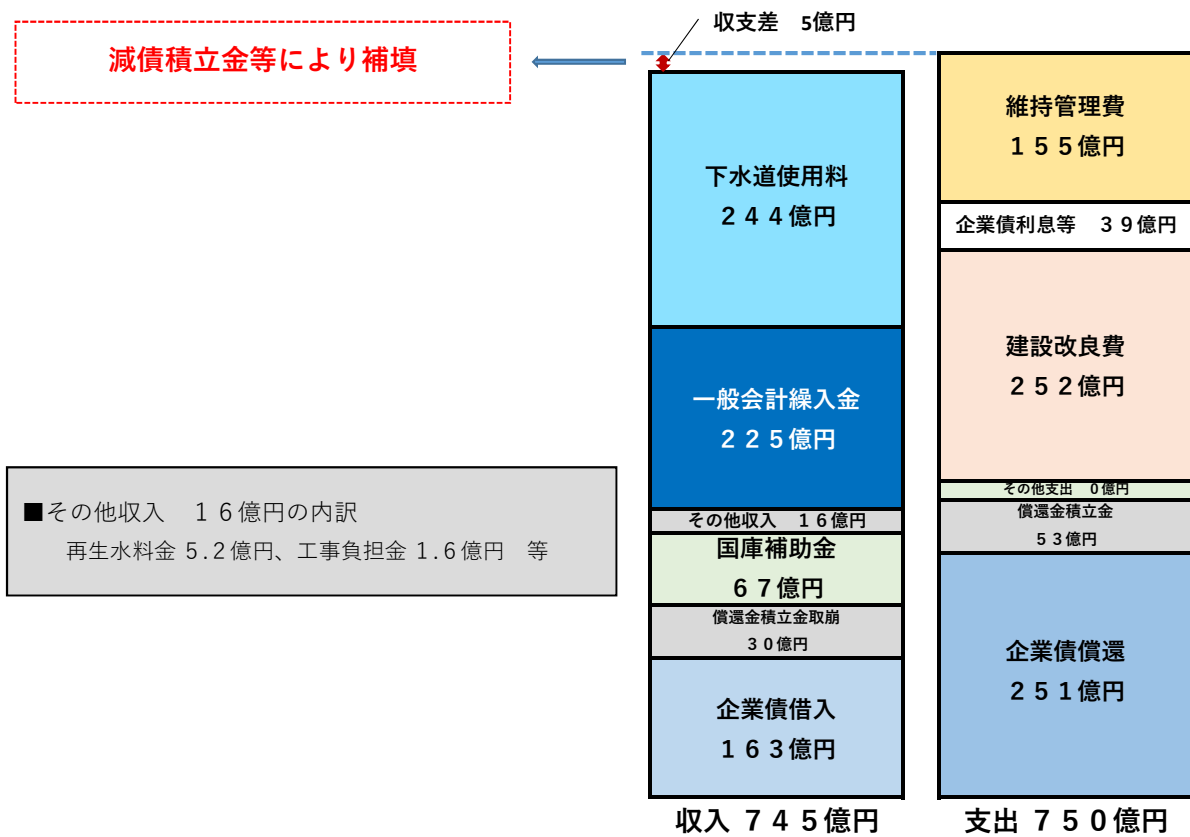
### 3. 下水道事業の財政状況（図解）

（金額は消費税抜）

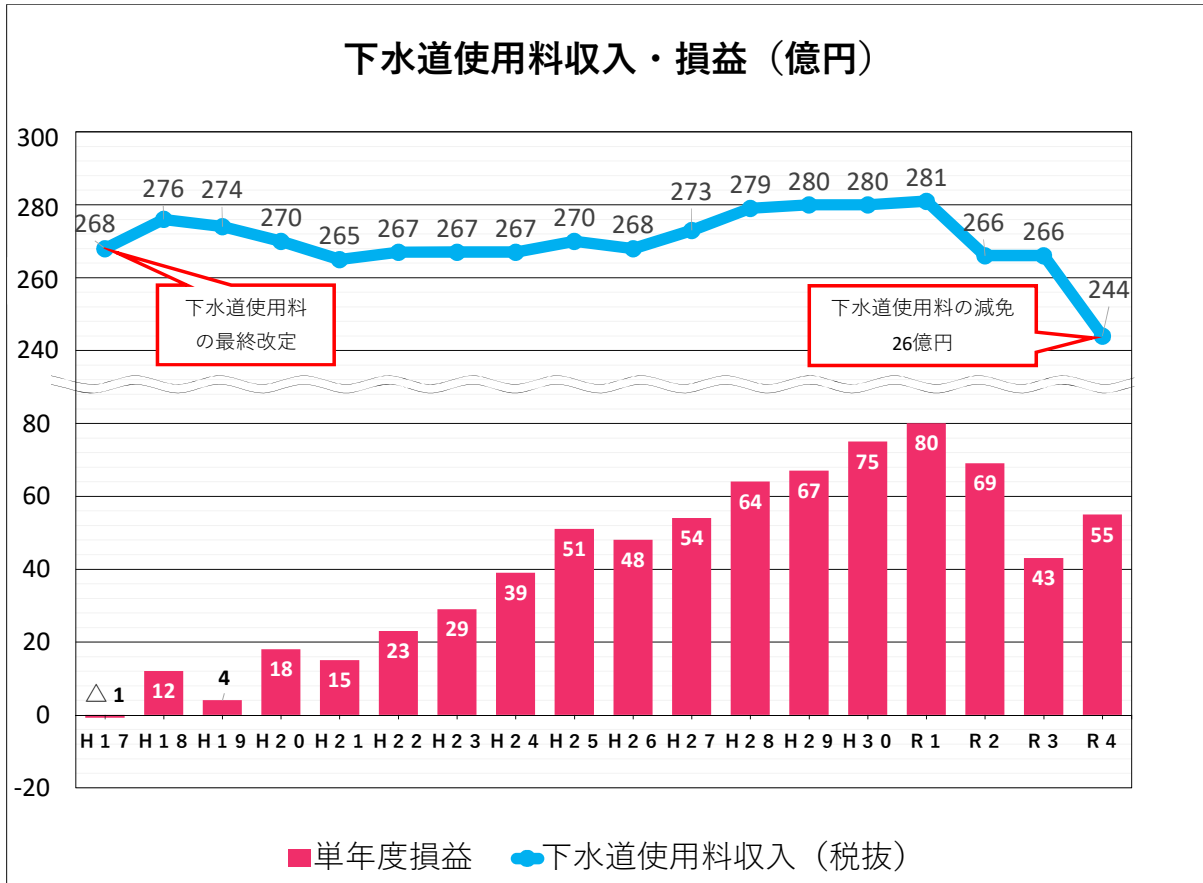
#### 【決算ベースの収支】



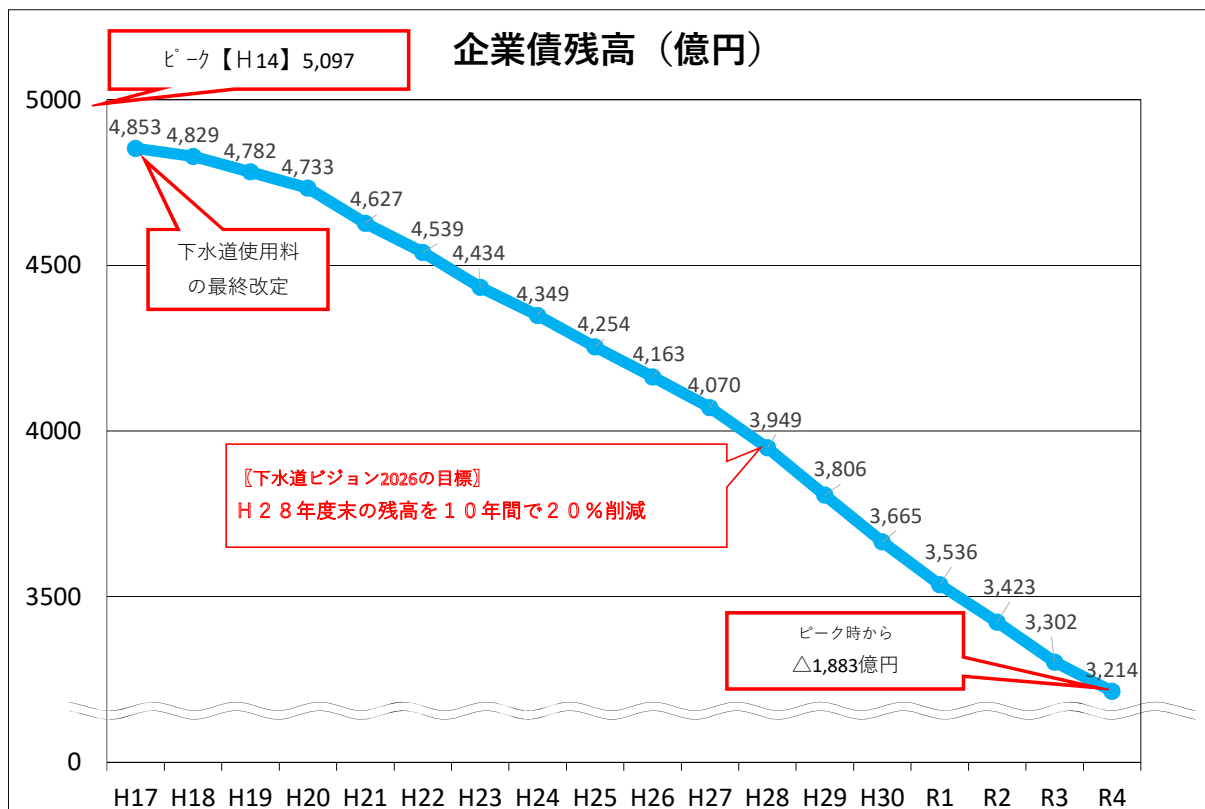
【資金収支（一般会計と同様の現金会計ベース）】 = 収益的収支 + 資本的収支 - 非現金収支（長期前受金戻入、減価償却費等）



## 【下水道使用料収入及び損益の推移】



## 【企業債残高の推移】



## 4. 経営指標等の推移

### (1) 施設指標

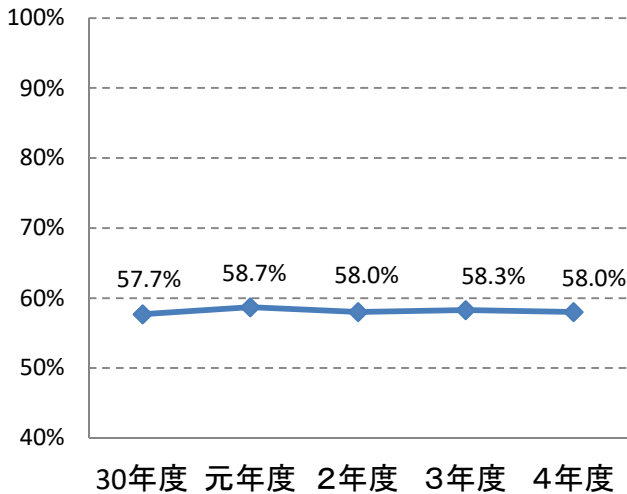
※他大都市とは、福岡市を除く政令指定都市19都市及び東京都

#### 施設利用率

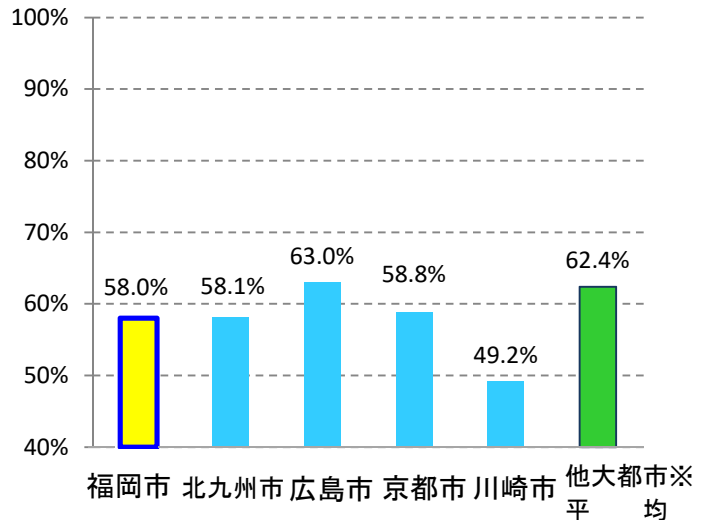
下水処理場における平均的な稼働状況を示す指標です。

$$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{処理能力(前年度末)}} \times 100$$

#### 施設利用率の推移



#### 令和4年度大都市の施設利用率



#### (評価)

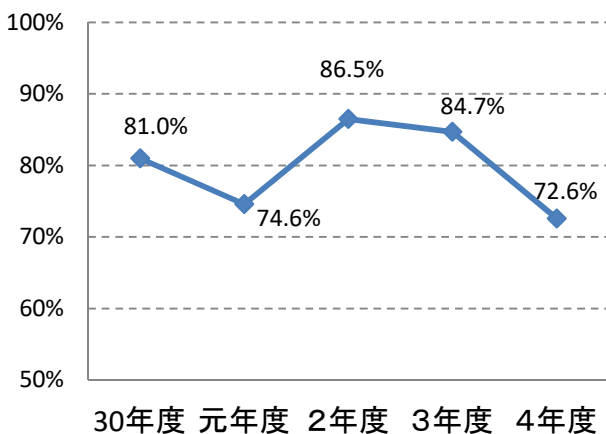
- ・当指標は、下水道の普及が概成しているため、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・他大都市平均と比較するとやや低く、施設に余裕がありますが、類似大都市とほぼ同水準にあります。

#### 最大稼働率

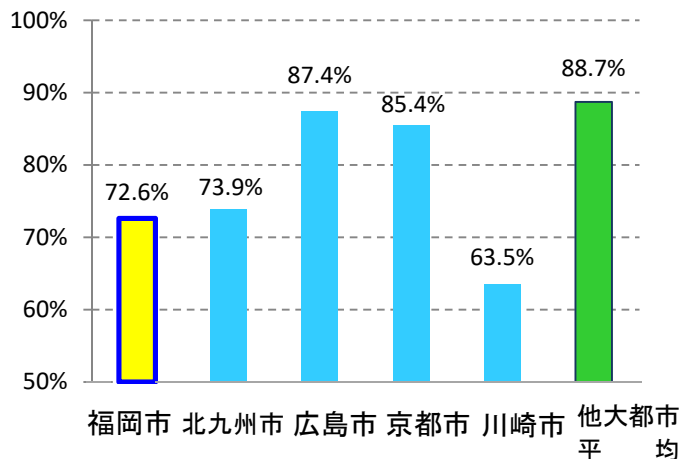
下水処理場において最も処理水量が多かった日の稼働状況を示す指標です。

$$\frac{\text{晴天時一日最大処理水量}}{\text{処理能力(前年度末)}} \times 100$$

#### 最大稼働率の推移



#### 令和4年度大都市の最大稼働率



#### (評価)

- ・当指標は、施設の処理能力に対する最大の稼働状況を示しており、令和4年度は、やや減少しています。
- ・他大都市平均と比較するとやや低く、施設にやや余裕があります。

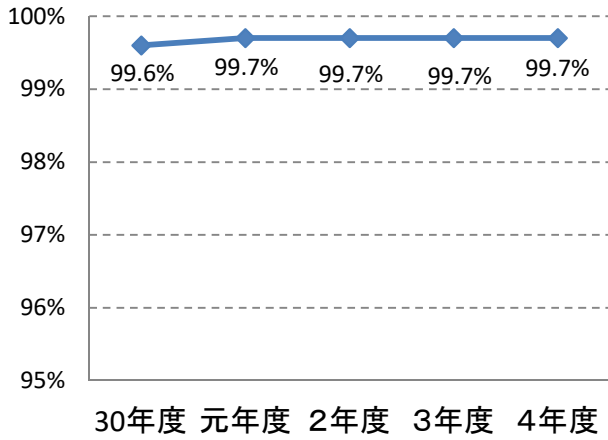


## 水洗化率

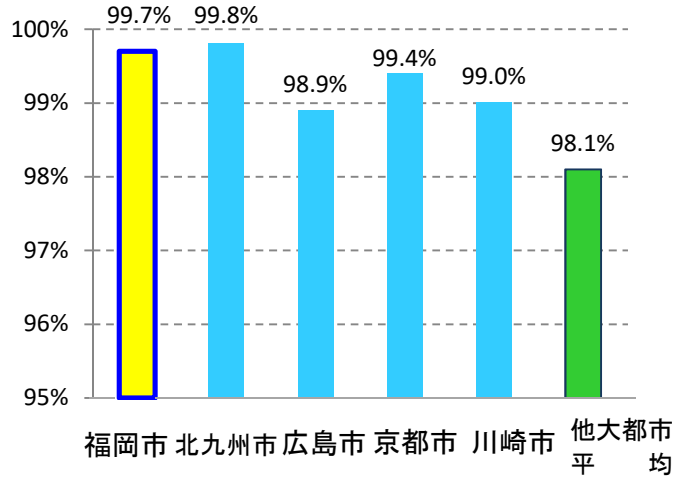
下水処理区域内において水洗トイレを利用している人口の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{水洗便所設置済人口}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$$

### 水洗化率の推移



### 令和4年度大都市の水洗化率



#### (評価)

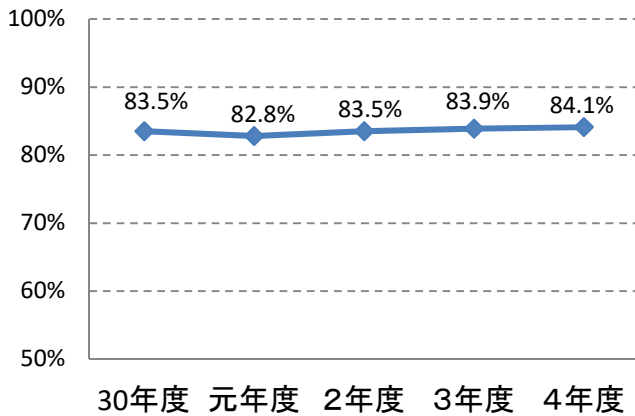
・当指標は、99%を超えており、ほぼ全ての人が水洗トイレを利用しています。

## 有収率

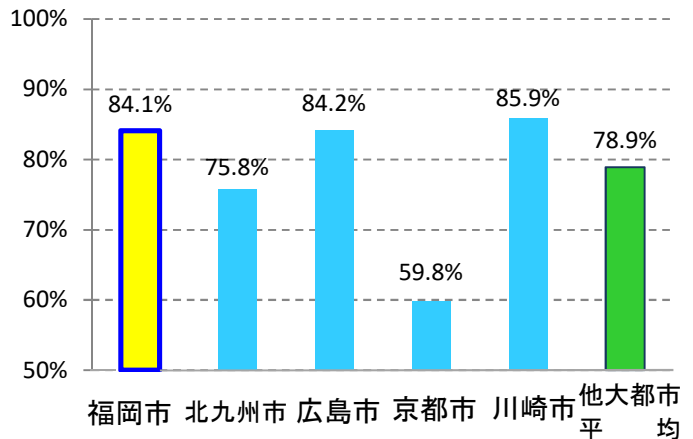
処理場で処理した水量のうち使用料徴収の対象となる水量の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総汚水処理水量}} \times 100$$

### 有収率の推移



### 令和4年度大都市の有収率



#### (評価)

- ・当指標は、高いほど使用料徴収の対象となっていない不明水が少なく、効率的な汚水処理が行われていることを示しています。
- ・近年は、8割程度で推移し、他大都市平均と比較すると上回っており、良好な水準です。

## (2)財務指標

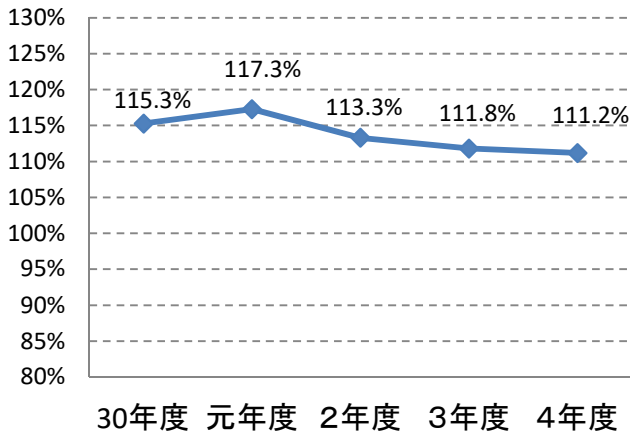
### 経常収支比率

下水道事業における収支のバランスを比較し、経営の安定性を示す指標です。

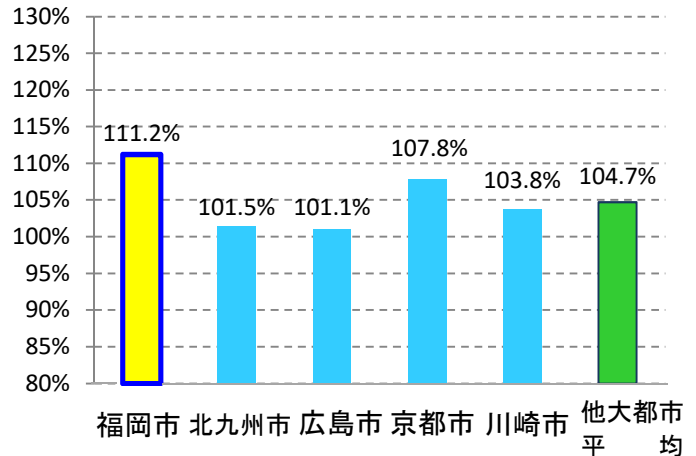
$$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

(営業収益+営業外収益)  
(営業費用+営業外費用)

#### 経常収支比率の推移



#### 令和4年度大都市の経常収支比率



#### (評価)

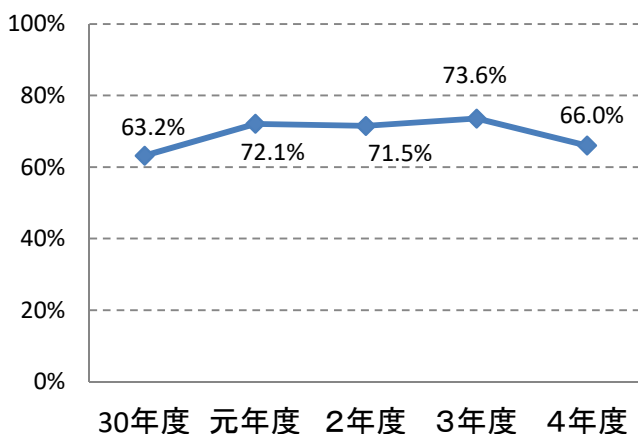
- ・当指標は、100%以上であれば単年度の収支が黒字であることを示しています。
- ・福岡市においては、新型コロナウイルス感染症の影響で低下傾向ですが、100%以上で推移しており、他大都市平均と比較しても高い水準であり、経営は安定しています。

### 流動比率

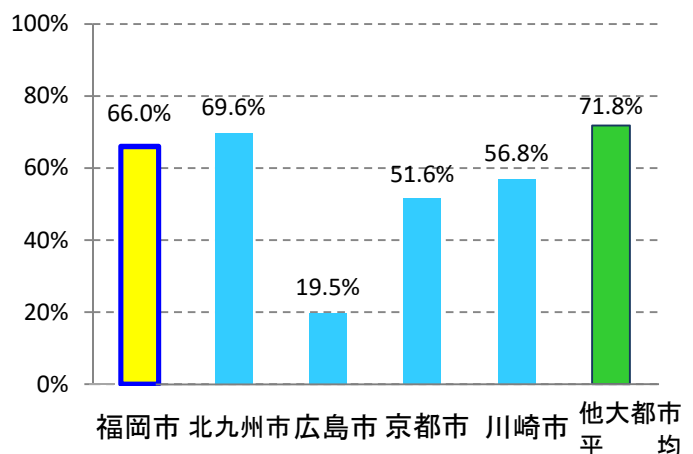
1年以内に現金化できる資産と負債とを比較し、短期的な支払い能力の高さを示す指標です。

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

#### 流動比率の推移



#### 令和4年度大都市の流動比率



#### (評価)

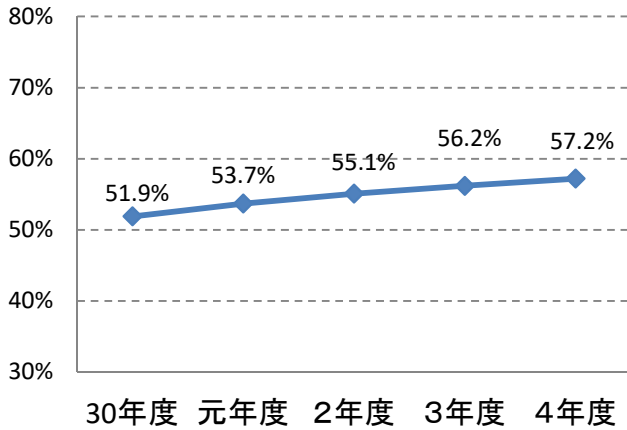
- ・当指標は、民間企業では、100%超が適正とされています。しかしながら、公営企業では地方公共団体の信用力を背景として、当該年度に発生する損益勘定留保資金等を当該年度の企業債の償還財源として使用するため、流動負債として計上される次年度の企業債の償還財源を決算時に保有していない傾向にあります。
- ・福岡市においても、次年度の企業債の償還財源を決算時に保有していないことから低率となっておりますが、他大都市平均と比較するとやや低くなっていますが、類似大都市よりは上回っています。

## 自己資本構成比率

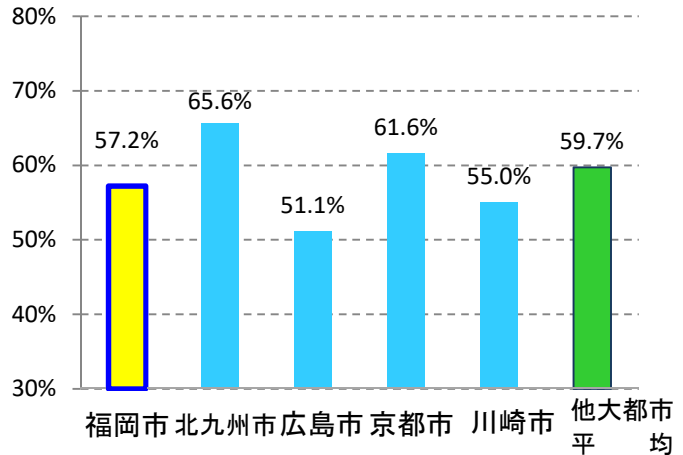
総資本に対する自己資本の占める割合を表しており、企業の安定度を示す指標です。

$$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$$

### 自己資本構成比率の推移



### 令和4年度大都市の自己資本構成比率



#### (評価)

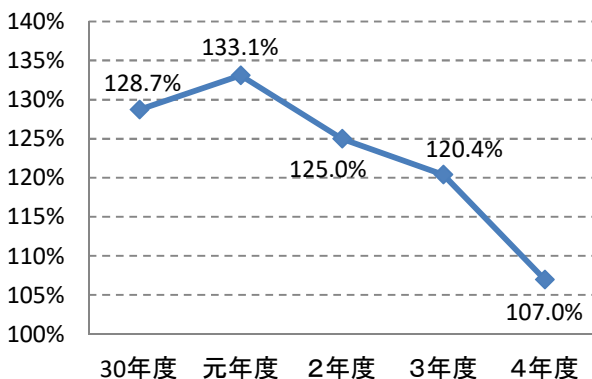
- ・当指標は、総資本を自己資本により構築している割合を示しており、高いほど借金に頼らずに経営が行われていることを表しています。近年は、利益剰余金を財源として企業債の発行を抑制していることなどから、負債が減少し当指標は増加傾向にあります。
- ・他大都市平均と比較すると下回っており、今後とも自己資本構成比率を高めていく必要があります。

## 経費回収率

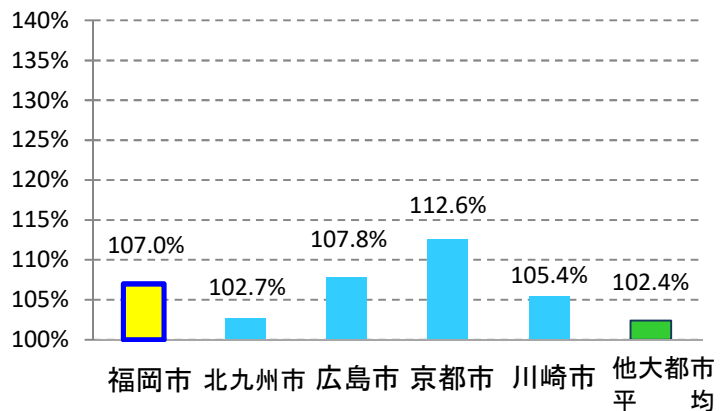
下水道使用料で回収すべき経費を、どの程度下水道使用料で賄えているかを示す指標です。

$$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$$

### 経費回収率の推移



### 令和4年度大都市の経費回収率



#### (評価)

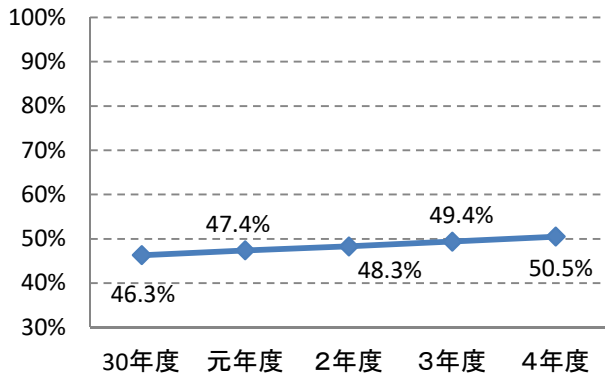
- ・当指標は、100%以上であれば、下水道使用料で回収すべき経費をすべて下水道使用料によって賄えていることを示しています。
- ・福岡市においては、100%以上で推移しており、他大都市平均と比較しても高い水準であり、健全な状態ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、低下傾向にあります。更に令和4年度においては、市民生活の支援策として下水道使用料の減免を行ったことから、前年度に比べて経費回収率は低くなっています。

**有形固定資産  
減価償却率**

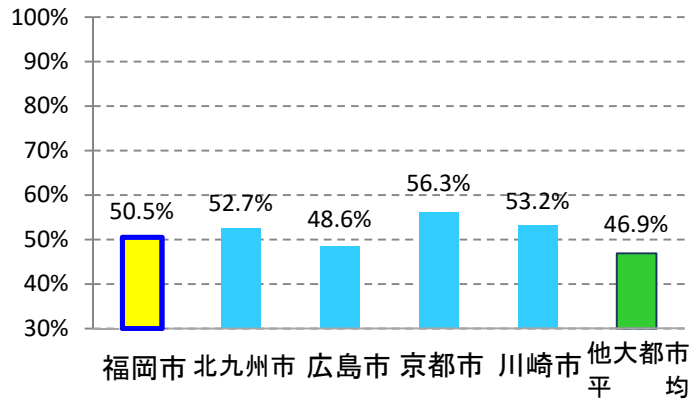
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。

$$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

**有形固定資産減価償却率の推移**



**令和4年度大都市の有形固定資産減価償却率**



**(評価)**

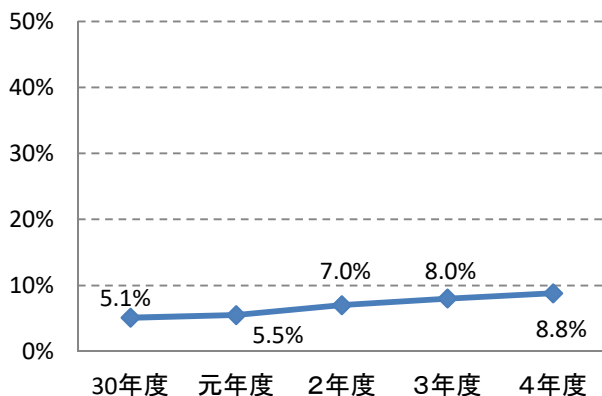
- ・当指標は、数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の改築等の必要性を推測することができます。
- ・福岡市においては、有形固定資産減価償却率は、類似大都市とほぼ同水準となっていますが、その比率は年々上昇していることから、今後とも計画的かつ効率的な改築更新を実施する必要があります。

**管渠老朽化率**

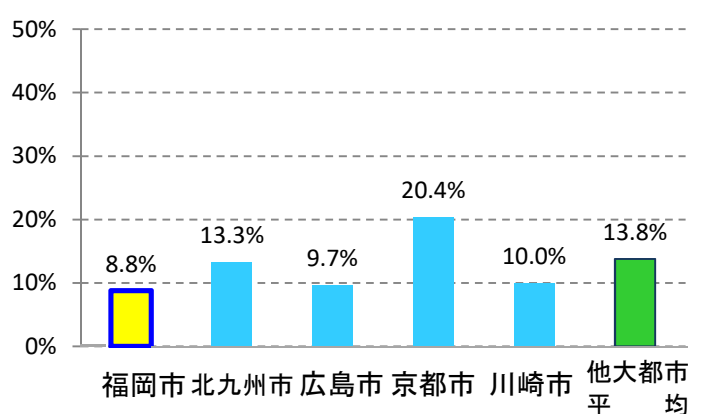
法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$$

**管渠老朽化率の推移**



**令和4年度大都市の管渠老朽化率**



**(評価)**

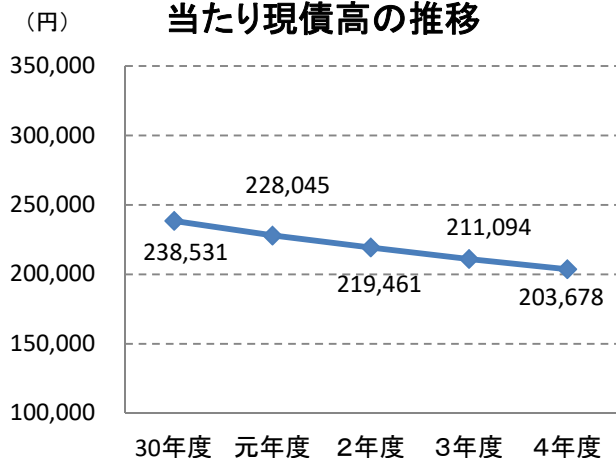
- ・当指標は、数値が高いほど法定耐用年数を経過した管渠を多く保有していることを示しており、管渠の改築等の必要性を推測することができます。
- ・福岡市においては、管渠老朽化率は、他大都市平均と比較するとやや低くなっていますが、その比率は年々上昇していることから、今後とも計画的かつ効率的な改築更新を実施する必要があります。

処理区域内人口  
一人当たり現債高

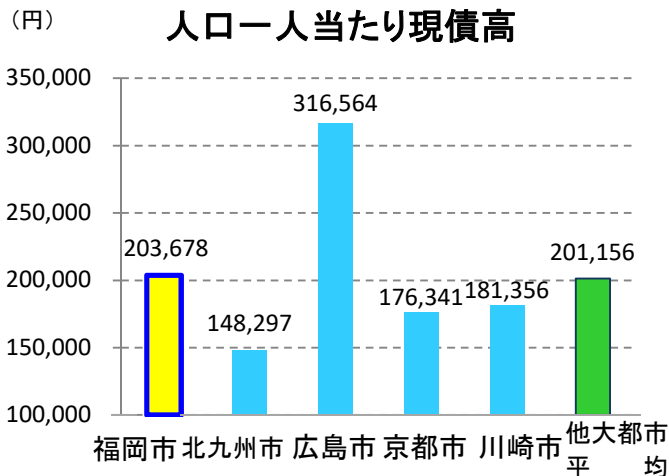
下水処理区域内人口一人当たりの企業債(借入金)残高を示しています。

企業債現在高  
処理区域内人口

### 処理区域内人口一人 当たり現債高の推移



### 令和4年度大都市の処理区域内 人口一人当たり現債高



#### (評価)

- 福岡市においては、近年、利益剰余金を財源として企業債の発行を抑制していることなどから、企業債の残高は減少していますが、処理区域内人口一人当たり現債高は他大都市平均を上回っており、今後とも企業債残高の縮減に努める必要があります。

### (3)全体総括

福岡市の下水道整備は、建設費が高騰したオイルショック後の昭和50年代から本格化したため、建設費を賄う企業債が増加したこと等により、赤字を計上していましたが、資産の有効活用や資金の効果的運用等による収入の確保、維持管理の効率化等を実施し、平成18年度以降継続して黒字を計上しており、「経常収支比率」と「経費回収率」については他大都市平均と比較して高い水準にあり、安定した経営状況を維持しているといえます。

しかしながら、既存施設の老朽化の進行に伴って維持管理費や改築更新費の増大が想定されるため、下水道使用料の適正な賦課徴収による収入の確保を図るとともに、改築更新時に併せた高効率機器の導入や下水道資源の有効活用等、より一層の経費節減を実施し、他大都市平均を上回っている「市民一人当たりの企業債残高」を縮減する等、経営基盤を強化する必要があります。

今後の事業運営に当たっては、老朽化施設の改築更新や地震対策、浸水対策の推進、脱炭素・循環型社会への対応等事業を推進していくとともに、新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格の高騰等が経営に及ぼす影響は大きいことから、中長期的な経営環境の変化も見据えながら、引き続き効率的かつ効果的な事業運営に努め、将来にわたり、健全で安定的な経営を持続する必要があります。

5. 補助金の支出状況

(単位：千円)

款別	補助金の名称	交付先	最 予 算 終 額	支出済額	不用額
土木費	道路照明灯補助金（防犯灯）	町内・自治会等	70,637	66,631	4,006
	私道整備費補助金	私道の舗装等を行う者	5,000	3,388	1,612
	狭あい道路路線整備補助金	—	2,000	—	2,000
	新歩行空間整備補助金	—	2,000	—	2,000
都市計画費	合併浄化槽設置補助金	助成対象地域で合併処理浄化槽を設置する者	1,328	332	996
下水道事業費用	低地排水設備工事費助成金	—	750	—	750
	私道排水設備工事費助成金	—	235	—	235
	水洗便所改造補助金	—	516	—	516
	排水設備分流化改造工事費助成金	排水設備を分流式に改造する者	30,000	10,290	19,710
	雨水流出抑制施設助成金	助成対象地域で雨水流出抑制施設の設置を希望する土地・建物の所有者又は使用者	1,000	591	409